

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ3億707万7千円追加し、予算総額を160億7千270万6千円とするものです。

主な内容は次のとおりです。

○ふるさと納税推進事業

4千785万9千円

○小規模保育事業所設置事業

4千725万円

○災害廃棄物処理事業

1億5千967万2千円

○白石川サッカー公園トイレ新設事業
480万円

◎令和元年度白石市一般会計補正予算(第6号)
(定例会最終日提案)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1億8千240万7千円追加し、予算総額を162億5千511万3千円とするものです。

人事院勧告に準拠した給与改定に係る人件費、ふるさと納税寄附金に対する返礼品送付等の支援業務委託料及び台風19号により被災した農業者等に対して支援するための補助金などの費用を計上しています。

本会議質疑より

◎財産の譲渡について

〔質疑〕今回の土地の譲渡について、どのような算定根拠に基づき譲渡価格を算出したのか伺う。

〔答弁〕当該土地の筆ごとに算出される固定資産税仮評価額を基礎としており、実勢価格は、その固定資産税仮評価額の70%で割り戻すことにより算出されるが、この額から樹木やトイレなど構築物の解体費用を差し引いた額を譲渡価格としたものである。

◎令和元年度白石市一般会計補正予算(第5号)

〔質疑〕ふるさと納税推進費について、寄附額が見込みを上回ることから、補正予算が計上されているが、寄附額が増えた理由をどのように考えているのか伺う。

〔答弁〕要因としては、スイーツ部門に力を入れているところ

が非常に多くの割合で選ばれているが、スイーツ関係だけで全体の73%を占めており、そのほか精米、日本酒という順番になっている。

寄附額の金額帯についても、当初スタートした時は1万円であったが、これまでの取り組みにより、1万円から12万円までさまざまなコースを充実させたことも要因のひとつと考えている。

また、今回の台風19号被害に対し、11月25日現在の速報値で、合計410万円にわたる台風被害に対しての緊急募金として、ふるさと納税を活用いただいたという点である。



ふるさと納税とは？

「納税」という名称ですが、自分が応援したいと思うふるさと(地方公共団体)へ「寄附」ができる制度です。

寄附金のうち2千円を超える部分は、所得税と住民税の控除が受けられます。ただし、所得等に依りして一定の上限があります。

意見書

定例会最終日(12月19日)に議員提案として次の意見書が上程され、採決の結果、全会一致で可決され、意見書は関係機関に送付されました。

◎「ライドシェア」に関する意見書(概要)

タクシー事業は、地域公共交通として地域住民の足、交通弱者の交通手段として重要な役割を果たしているだけでなく、地域公共交通の責務を果たすべく努めている。

「ライドシェア」と称する白タク行為は、事業主体が運行管理や車両整備等の運行に関する責任を負わず、自家用車のドライバーが運行責任を負う形態を前提としている点に最大の問題があり、地域公共交通機関たるタクシー事業の根幹を揺るがすものである。

よって、「ライドシェア」を認めることのないよう、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に意見書を提出しようとするものである。

第438回 市議会定例会(12月19日)

意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	議員氏名	議決結果	議員氏名																	
			1 大森 貴之	2 佐藤 龍彦	3 伊藤 勝美	4 澁谷 政義	5 大野 栄光	6 沼倉 啓介	7 高橋 鈍斎	8 小川 正人	9 平間 知一	10 保科善一郎	11 佐久間儀郎	12 四竈 英夫	13 高子 秀明	14 森 建人	15 角張 一郎	16 菊地 忠久	17 佐藤 秀行	18 松野 久郎
請願第1号 白石市第一幼稚園休園の白紙撤回並びに次年度年少組園児募集の即時再開に関する請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	×	○	×	×	×	×

※「○」⇒採択に賛成した議員、「×」⇒採択に反対した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない